

電波タイムズ

The Dempa Times

静岡市で「4K/テレビ」のセレモニー

TOKAIケーブル トコちゃんねる静岡 総務省上川陽子副大臣が祝辞



同セレモニーで除幕する関係者(上川副大臣、木村東海総合通信局長、福田社長、近藤社長)



セレモニーで来賓祝辞する上川総務副大臣

【静岡】今月11日にTOKAIケーブルネットワーク及び、トコちゃんねる静岡は7月11日から静岡県内で、順次4Kテレビ放送の試験放送を実施するに先立って、JR静岡駅北口に面する葵区の葵タワー(同区組屋町)の1階エントランスホールで、13時20分より放送開始セレモニーを行った。現行のフルハイビジョンより4倍の解像度を持つ「4Kテレビ」は、2016年を目標に関連業界は市場拡大を期待している。なお静岡県内で

は、沼津市・藤枝市で同社が公開放送を実施する予定。同セレモニーでは、TOKAIケーブルの代表取締役社長福田安広氏の主催者挨拶に続いて、来賓として出席した総務省の上川陽子副大臣は祝辞の中で、「政府は高精細度4Kテレビを成長戦略の一つとして重視していく」と述べた。4Kテレビは本放送を2016年を目標にして、国内の放送機器メーカーや放送局などの関連業界などで構成する「次

世代放送推進フォーラム」が、4K専用チャンネルの実現を目指している。しかしテレビ放送開始以来のRCA/NTSC方式が、次世代の国策としてのデジタル方式へ完全移行。時期を同じくしてブラウン管方式の奥長テレビが、液晶ディスプレイで薄型と軽量化へと進化した。過去モノクロTVが1964年の東京オリンピックで、急速にカラー化した時ほどのインパクトは無い。確かに50型以上の大型テレビのディスプレイで相互に比較すれば4Kの細密度が判るが、従ってこれからのハード・ソフトウェアの開発と普及が、関連業界の大きな課題と考えられる。